

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 介護事業所等サービス継続支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部高齢福祉課事業者指導係 電話番号：058-272-1111(内3468)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 215,000 千円 (前年度予算額： 966,994 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	966,994	0	0	0	0	0	966,994	0	0
要求額	215,000	143,333	0	0	0	0	0	0	71,667
決定額	215,000	143,333	0	0	0	0	0	0	71,667

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

介護サービス事業所・施設等が、新型コロナウイルス感染症発生の影響下においても、必要な介護サービスを継続して提供できるよう、通常介護サービスの提供時には想定されない「かかりまし経費」等に対して支援を行う必要がある。

(2) 事業内容

介護サービス事業所・施設等が、感染機会を減らしつつ、必要な介護サービスを継続して提供するために必要な経費について補助金を交付する。

補助対象：利用者又は職員に感染者が発生した介護サービス事業所・施設等 など

対象経費：緊急時の介護人材確保に係る費用

職場環境の復旧・環境整備に係る費用

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：10/10（事業種別ごとに補助上限額を設定）

負担：国2/3、県1/3

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	215,000	介護サービス事業所等に対する補助金
合計	215,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

国庫補助事業に基づいて実施。

(2) 事業主体及びその妥当性

新型コロナウイルス感染症対策として実施する必要性があり、県主体が妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

新型コロナウイルス感染症が発生した場合等においても、介護サービス事業所等におけるサービス提供体制を継続する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

感染症対策として実施する事業であり、指標の設定には馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和 3 年度	<p>介護サービス事業所・施設等が、新型コロナウイルス感染症発生の影響下においても、必要な介護サービスを継続して提供できるよう、通常の介護サービスの提供時には想定されない、かかりまし経費等に対して支援を行った。 (地域医療介護総合確保基金を活用)</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 4 年度	<p>介護サービス事業所・施設等が、新型コロナウイルス感染症発生の影響下においても、必要な介護サービスを継続して提供できるよう、通常の介護サービスの提供時には想定されない、かかりまし経費等に対して支援を行った。 (地域医療介護総合確保基金を活用)</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 5 年度	<p>介護サービス事業所・施設等が、新型コロナウイルス感染症発生の影響下においても、必要な介護サービスを継続して提供できるよう、通常の介護サービスの提供時には想定されない、かかりまし経費等に対して支援する。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 3	新型コロナウイルスの感染拡大防止対策事業であり、必要性は高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	新型コロナウイルス感染症発生の影響下においても、必要な介護サービスを継続して提供されている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 2	効率的に申請・審査が行えるよう、申請方法の見直しを行った。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 感染症拡大防止のため、早急な対応が求められる。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 感染症の状況や国の対応などを踏まえ、柔軟に対応していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	